記者発表資料

令和７年７月１７日
最上川流域治水協議会

最上川中流･上流緊急治水対策プロジェクトの進捗状況説明会を開催！！
～令和2年7月豪雨から5年～

- 令和２年７月豪雨から５年を迎えるにあたり、再度災害防止のため対策を進めている「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」について、進捗状況やＤＸを活用した施工紹介等に関する説明会を開催いたします。

最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの進捗状況説明会

・　日　　時：令和７年７月２３日（水）１４：００～１時間程度
・　集合場所：大旦川水門局舎２階・河川防災センター（別紙１）
・　内　　容：・最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクトの進捗状況
　　・工事におけるＤＸの取組み
　　※当日は箇所毎の進捗等を室内にてモニターを用いて説明予定
　　（説明資料は説明会終了後ＨＰに掲載します。）

＜発表記者会＞：山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ、新庄新聞放送記者会
　　山形建設業界専門紙

問合せ先

●東北地方整備局　山形河川国道事務所　山形市成沢西４丁目３番55号
　電話　023-688-8421（代表）
　副所長（河川）　山影（やまかげ）　修司（しゅうじ）（内線　204）
　工務第一課長　　今野（こんの）　浩一（こういち）（内線　311）

●東北地方整備局　新庄河川事務所　新庄市小田島町５番55号
　電話　0233-22-0251（代表）
　副所長（河川）　花田（はなだ）　一二（かつじ）（内線　204）
　工務第一課長　　大場（おおば）　文裕（ふみひろ）　（内線　311）

●山形県県土整備部河川課　山形市松波２丁目８番１号
　電話　023-630-2620（直通）
　河川課長　　佐藤（さとう）　崇（たかし）

【別紙１】

最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト進捗状況現地説明会集合場所

開催日時：令和７年７月２３日（水）１４：００～１時間程度

集合場所：大旦川水門局舎２階河川防災センター（村山市河島）



出展：地理院地図に位置等を追加して掲載



※取材を希望される場合は、山形河川国道事務所工第一課直通（023-688-8929）までご連絡ください。

【概要】　最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト

〇令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流・上流において、国・県・沿川市町村等が連携し、「最上川中流・上流緊急治水対策プロジェクト」を策定（令和3年1月）し、ハード・ソフト両面で治水対策を推進している。

＜最上川本川の主要事業（国）＞

- 河道掘削工事は、全体計画90万m3に対して、今年度までに約75万m^3（約8割）の掘削を完了予定。
- 白須賀地区（大蔵村）の堤防整備は令和3年度に、長島地区（村山市）の堤防整備は令和5年6月完成。
- 押切地区（河北町）、大久保遊水地（村山市・河北町）においては、令和5年度から工事着手。溝延地区（河北町）においては、今年度から工事着手。
- 横山・大石田地区（大石田町）においては、堤防整備等のための用地調査及び用地補償を実施中。また、今年度から橋梁架け替え工事に着手。
- 百目木地区（大江町）においては用地補償を実施中。
- 令和2年7月豪雨洪水被害の記憶を風化させない取り組みとして、「巡回パネル展」を実施中。

＜最上川支川の主要事業（県）＞

- 災害復旧は、令和4年度までに全箇所（71河川244箇所）完了。
- 白水川の堤防復旧・嵩上げが令和4年度完成。
- 大旦川の暫定調節池が令和5年6月完成し運用開始。
- 新たに河川整備を行う和田川、小鶴沢川、月布川、古佐川、五十沢川の5河川について、令和3年度に河川整備計画に位置づけ、令和4年度に事業着手。
- 水害リスク情報空白域の解消のため、令和元年度までに指定した70河川に加えて、令和６年６月に村山地域の127河川を指定、令和７年５月に最上、置賜、庄内地域の357河川を指定し、県管理河川すべての洪水浸水想定区域の指定が完了。

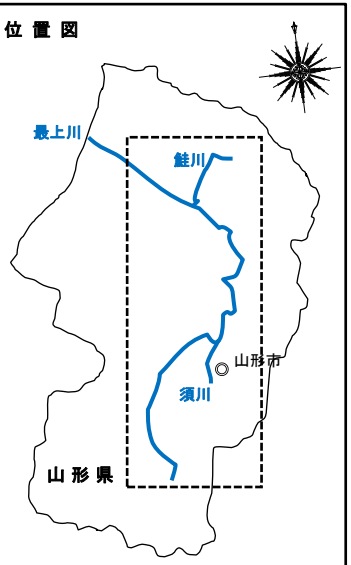
R3.1.29　策定

最上川中流・上流 緊急治水対策プロジェクト

～地形特性を踏まえた河川整備と農業や雪対策と連携した治水対策の推進～

○令和２年７月豪雨により甚大な被害が発生した最上川水系では、河川整備に併せ、地域の主産業（農業等）や豪雪地域などの地域特性を踏まえた農地・農業水利施設の活用や雪対策と連携した高床化などによる対策を組み合わせた流域治水を推進することで、令和２年７月豪雨＜中上流部で戦後最大＞及び昭和４４年洪水（低気圧）＜下流部で戦後最大＞と同規模の洪水に対して、国管理区間での氾濫を防止するとともに流域での浸水被害の軽減を図ります。

位置図



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○河川区域での対策

・河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良 等

○集水域での対策

・砂防堰堤等の整備
・雨水幹線の整備、貯留管
・利水ダム等２５ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：国、山形県、東北電力(株)、土地改良区など）
・森林整備・治山対策・水田貯留（田んぼダム）
・農業用排水機場等の整備
・下水道施設（処理場等）の耐水化

■被害対象を減少させるための対策

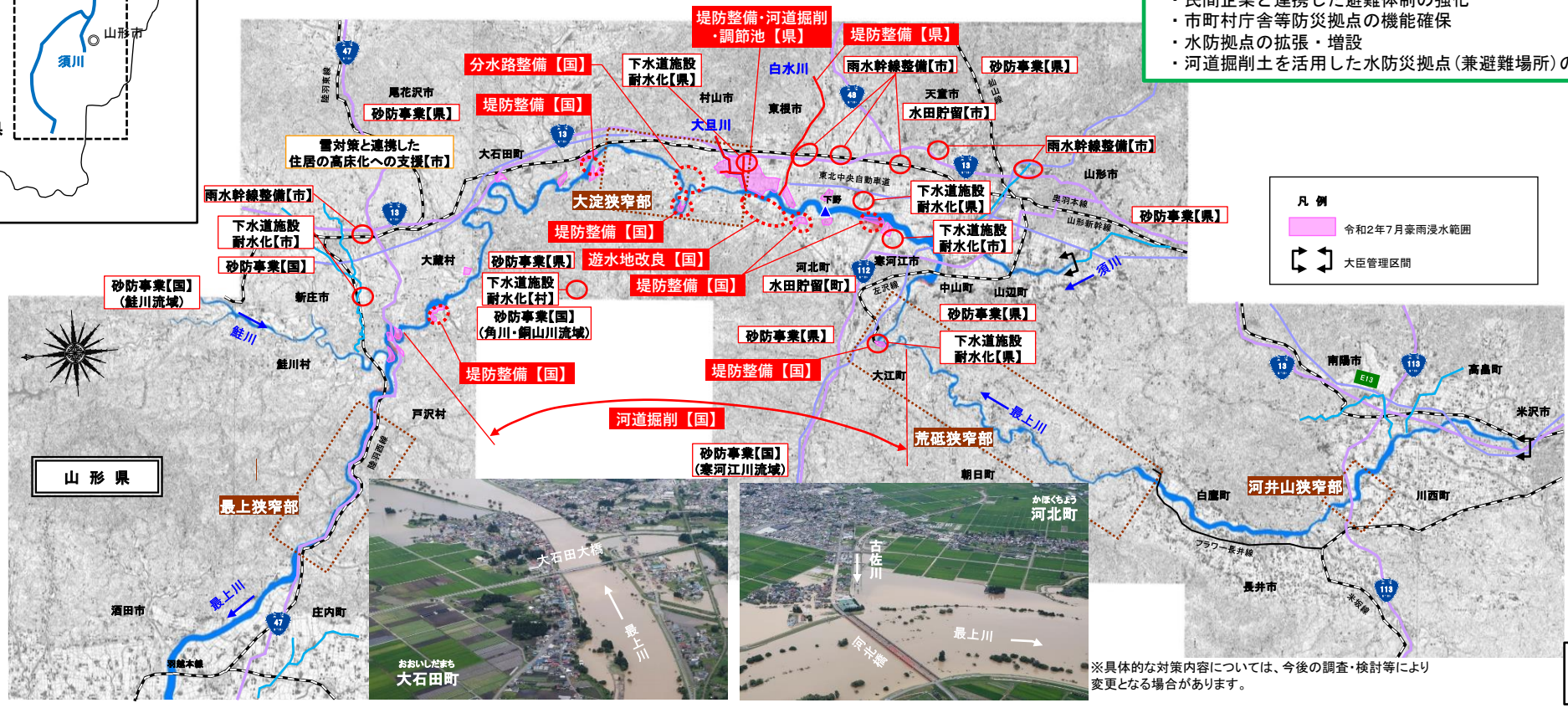
○氾濫域での対策

・災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成及び居住誘導
・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）
・家屋移転、かさ上げ補助制度の創設
・雪対策と連携した氾濫被害の軽減（高床住宅等）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○氾濫域での対策

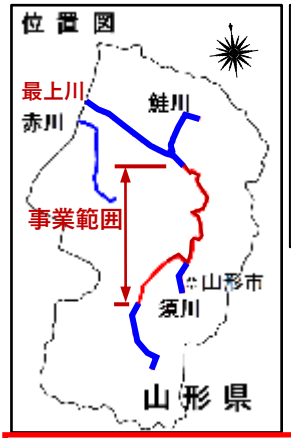
・水害リスク空白域の解消
・危機管理型水位計の設置
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
・R2.7出水の課題を受けたタイムラインの改善
・流域自治体との洪水対応演習
・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
・メディアと連携による洪水情報の提供
・まるごとまちごとハザードマップの促進
・広域連携による避難態勢の強化
・民間企業と連携した避難体制の強化
・市町村庁舎等防災拠点の機能確保
・水防拠点の拡張・増設
・河道掘削土を活用した水防災拠点（兼避難場所）の整備



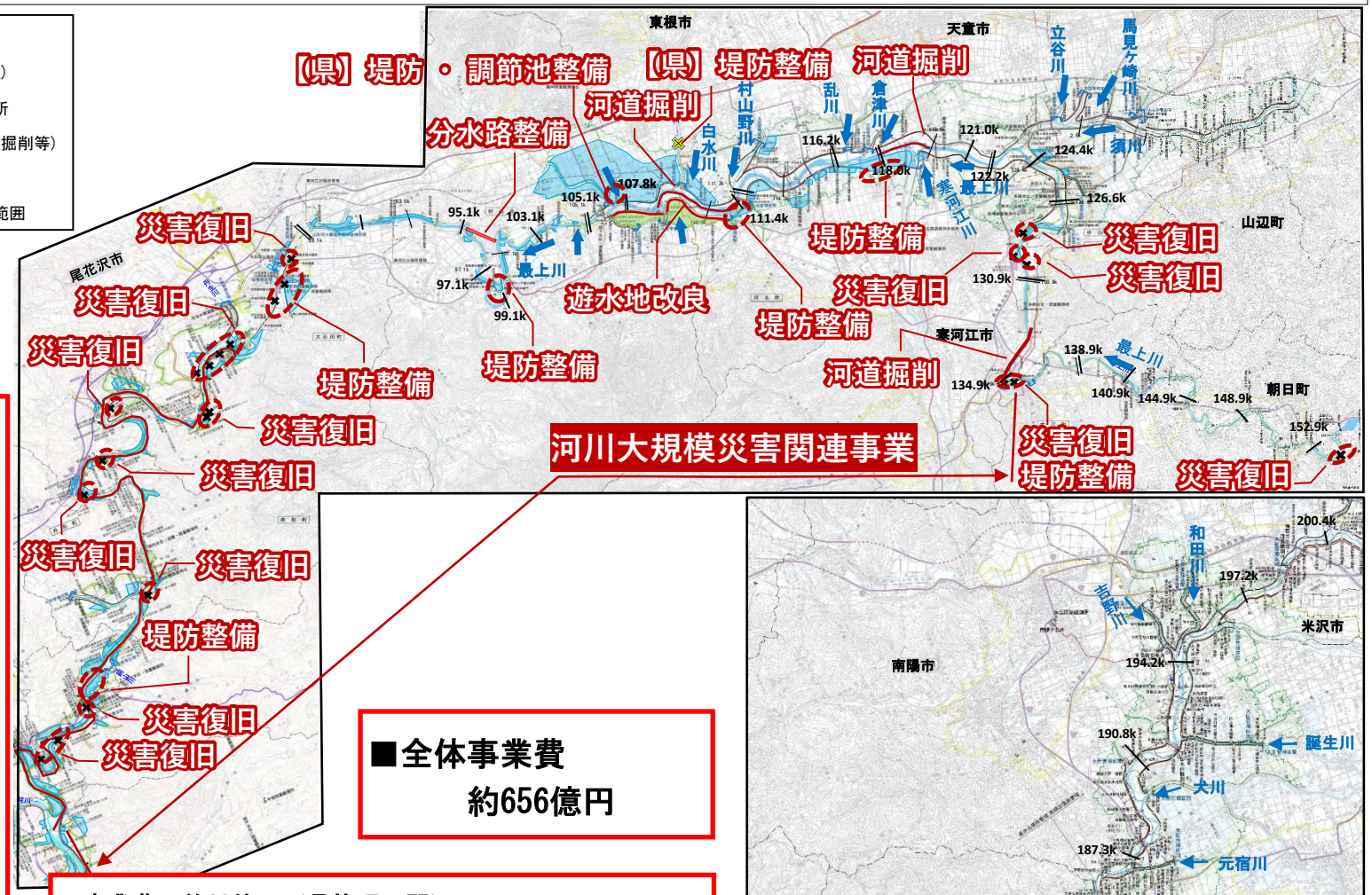
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

「最上川緊急治水対策プロジェクト」

○令和2年7月豪雨により、甚大な被害が発生したことを踏まえ、最上川中流～上流において、国、県、市町村が連携し、被災した箇所において、集中的に再度災害防止対策を実施します。事業の実施にあたっては、地域の皆様と調整しながら進めてまいります。



凡例
- 堤防決壊箇所（県管理）
- 堤防・護岸等被災箇所
- 改良事業箇所（築堤・掘削等）
- 大臣管理区間
- 令和2年7月豪雨浸水範囲

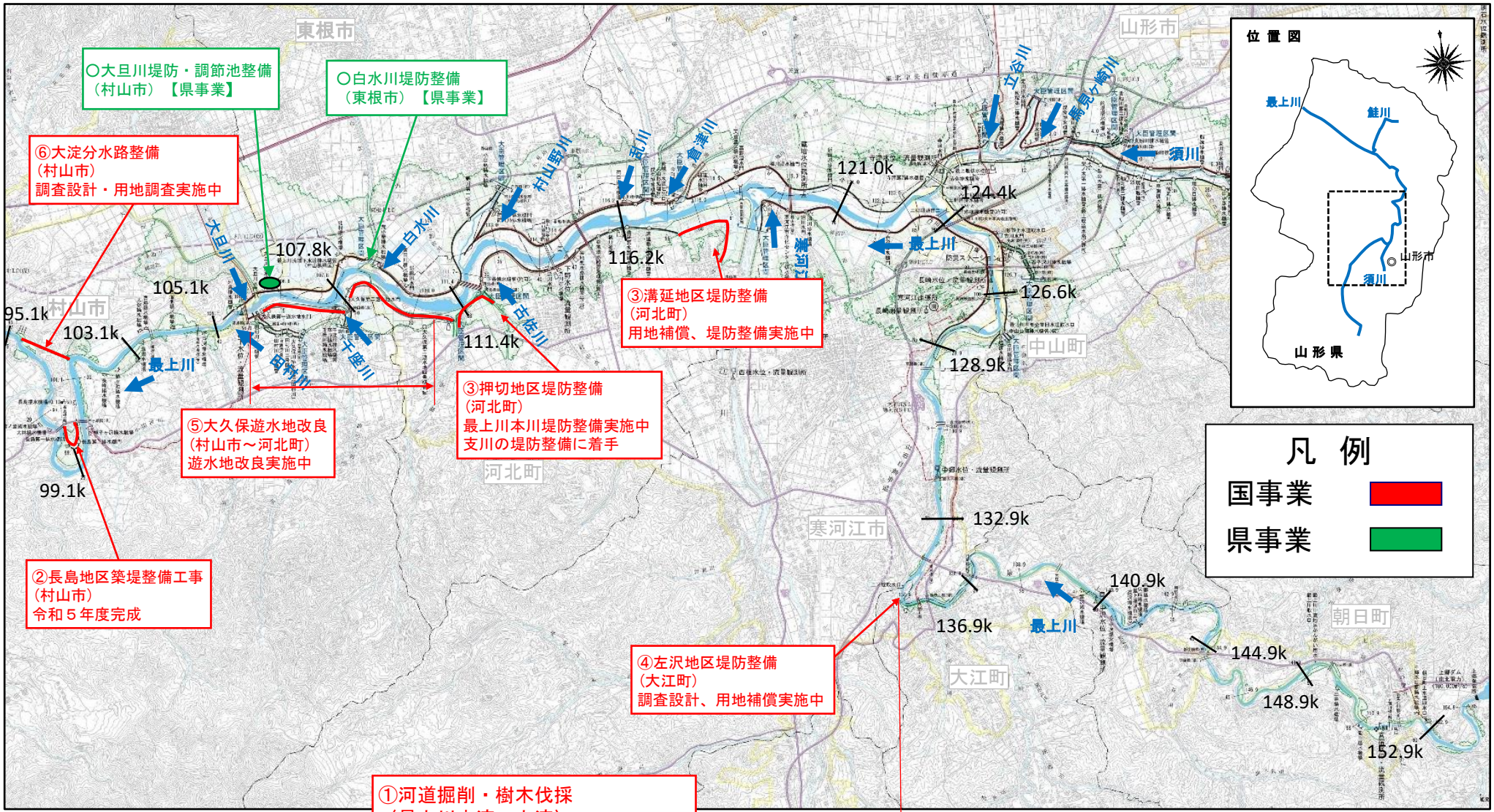


■事業費　約568億円（国管理区間）
■事業種別
○災害復旧
　最上川中流
　　全体事業費　約51億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度
　最上川上流
　　全体事業費　約11億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度
○大規模災害
　最上川中流
　　全体事業費　約146億円
　　事業期間　令和2年度～令和11年度
　最上川上流
　　全体事業費　約354億円
　　事業期間　令和2年度～令和11年度
○推進費
　　全体事業費　約6億円
　　事業期間　令和2年度～令和3年度

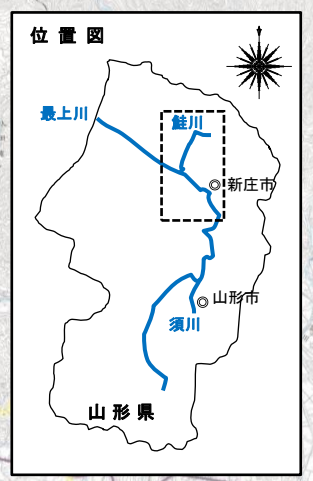
■全体事業費
約656億円

■事業費　約88億円（県管理区間）
■事業種別
○災害復旧　全体事業費　約62億円（県内242箇所）
　　事業期間　令和2年度～令和4年度
○改良復旧　全体事業費　約26億円（白水川、大旦川）
　　事業期間　令和2年度～令和4年度

緊急治水対策プロジェクト　主要事業箇所



緊急治水対策プロジェクト　主要事業箇所



⑦横山・大石田地区堤防整備
（大石田町）
調査設計及び用地調査・用地補償実施中

①河道掘削・樹木伐採
〈最上川中流・上流〉
全体約90万㎥の掘削を目指し実施中

⑧白須賀地区堤防整備
（大蔵村）
令和３年度完了

凡　例
国事業

5